

環境振動企画 WG 第3回議事録（案）

A. 日 時 2021年6月29日 火曜日 10:30～11:40

B. 場 所 Teams

C. 出席者 主査他 10名

D. 提出資料（提出委員名）

No.1 前回議事録案

No.2 環境振動シンポジウムの検討資料（アンケート集計 20210628）

E. 議事内容

1. 前回議事録案の確認（資料 No.1）

承認された。

2. テーマ案（資料 No.2）

資料（No.2）の説明があった。

- ・小規模建築物の振動特性 WG 内でアンケートを取り、集計した結果の説明があった。
- ・振動より、騒音の指摘が多そうである。
- ・木質系については、横山先生から CLT 関連の研究をされているので、話題提供をいただけそうである。

無線、クラウド等に関する振動計測の説明があった。また、木造の高層建物の各社の発表内容の説明があった。

下記の A 案について意見交換が行われた。

- ・メーカーの宣伝になるような発表にならないようにする。
- ・発表していただける方を見つけるのが難しそうである。
- ・木質系は、横山先生にお願いしたい。
- ・全体の発表のトーンを合わせるようなことが大事ではないか。
- ・今回は、各論をオムニバスにする形式でも良いのではないか。
- ・環境振動に直接的に関係が無くても、将来、環境振動分野にも結び付くようなものを取り入れても良いのではないか。
- ・AI については、今は環境振動分野でできている物は無いかもしれないが、現状の活用状況（例えば、設計分野での活用、など）とこういった物ができればいいなというような話でもいいのではないか。
- ・嫌振機器について、設計小委員会で何か話ができないか検討していただくのはどうか。
- ・コロナ禍については、主旨説明あるいはパネルディスカッションで触れることで、次に向けての問題提起ができればいいのではないか。
- ・ネットワーク化の話題提供者に関しては、濱本先生から IT 強震計研究会発起人東大地震研鷹野先生の名前が挙げられた。
- ・計測システムについて、竹中工務店での建設作業振動を廉価に計測できる無線計測システムについて話題提供が可能との発言があった。

A 案を軸に、今年度のシンポジウムを相談していきたい。

A 案

嫌振機器対応設計 設計例、振動に対する考え方、スペック？ → 設計小委員会で検討

新素材（木質系、etc.） → 横山先生

新しい・今の制御技術

コロナ禍・後（新しい生活様式、ニューノーマル）における環境振動

計測技術のこれから（ネットワーク化、広域、無線、小型化、廉価、etc.）

AI 利用

次回：未定 （プログラム案のたたき台を検討した上で、各委員に開催打診する）

以上